

令和5年度第1回石狩海浜植物保護センター運営委員会議事録

◇日時：令和5年5月29日（月） 14時00分～15時40分

◇会場：石狩市役所 203会議室

◇出席者

<運営委員>

溝渕清彦（会長）	【オンライン】
更科美帆（副会長）	【オンライン】
松島 肇	【オンライン】
安田秀子	【オンライン】
西川洋子	【オンライン】
小林卓也	【オンライン】
宮本 尚	【オンライン】
安田秀司	【オンライン】

欠席

山本亜生

<事務局>環境市民部 石狩海浜植物保護センター

板谷英郁（センター長）

村上弘晃（主査）

佐藤美弘（主任）

高橋恵美（主任）

<石狩海浜植物保護センター再生園運営委託者>

合同会社いしかり植物ラボ 内藤華子

◇傍聴者：2名

◇議題

（1）令和5年度 石狩海浜植物保護センター事業計画（案）

（2）令和5年度 石狩海浜植物保護センター事業中間報告

◇委員会資料

・次第

・令和5年度石狩海浜植物保護センター資料1（事業計画案）

・令和5年度石狩海浜植物保護センター資料2（事業中間報告）

【事務局】

定刻となりましたので、ただいまから、令和5年度第1回石狩海浜植物保護センター運営委員会を開催します。

本日は、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。運営委員会の事務局の板谷と申します。

本日は、運営委員の皆さまにおかれましては、オンラインでの開催となります。電子機器の不調等により、ご迷惑をお掛けする場面もあろうかとは思いますが、その際はどうかご容赦下さいますようお願いいたします。なお、議事録作成のため当運営委員会は録画させていただいております。

（事務局自己紹介）

皆様ご存じの通り今年の4月1日の人事異動により事務局にも異動がありましたので紹介したいと思います。（板谷センター長→村上→佐藤主任→高橋主任）

なお、本日は、山本委員が所用により欠席となっております。

それでは、溝渕会長お願いいたします。

【溝渕会長】

どうぞよろしく申し上げます。今期会長を務めさせていただきます、北海道環境財団環境省北海道環境パートナーシップオフィスの溝渕と申します。どうぞよろしく申し上げます。

前回の運営委員会では多くの御意見をいただきありがとうございました。事務局と意見を整理して、どのように反映しているか後日調整をさせて頂きました。今回は、石狩浜海浜植物保護センターの事業計画・事業内容だけではなく、いしかり生きものかけはしプラン、その中の石狩浜アクションプランとの整合性を取っていくか、整理し確認をしました。石狩浜アクションプランとの関わりから、どのような形でセンターの事業計画を整理するか、運営委員会、石狩市民の皆様が意見を出したい時に、どの場で意見を出し、どこに受けていただけるかというところについても分かるように進めていくことができればと思います。

これは次回以降、事務局へのお願いになりますが、オンラインでどなたが参加いただいているかわかりづらいため、運営委員名簿を資料の中に加えただけると大変助かります。

委員の皆様におかれましては、報告を受けた後に前回のことも含めて何かご意見があれば、お願いします。では、お手元の次第に沿って進めていただければと思います。

まず議題1、令和5年度石狩浜海浜植物保護センター事業体制及び計画について、事務局からのご説明お願いいたします。

【事務局】

—説明—

■補足

- ・令和5年度事業について、アクションプランを意識した順番に並べ替えている
- ・当てはまらない、センターの施設に関わる事業については、方針を1つ増やし、分類
- ・アクションプランが策定するまでは順番や整理を繰り返す

■変更点

- ・保護センターとしての施設機能に関わる事業について『I 情報・学び・体験の場として施設機能充実』を追加
- ・IIからIVについては、アクションプランのIからIIIを踏まえて事業の振り分け
- ・希少種という項目を設けて、その下にイソスミレ、ハマボウフウが来るように仕分け
- ・ハマボウフウは石狩市として重要な種であるためレッドリストに未記載であるが希少種として分類
- ・IVについては前回に加え環境学習も新たに分類に追加

【溝渕会長】

アクションプランに沿った形で事業計画を整理したという点と、センターの施設関係の事業方針を定めたという点の2つがあったかと思います。また、情報発信部分についても限られた人員の中でどのように行っていくのが前回の委員会では議論となりました。具体的な中間報告を受けてからでも計画の質問を伺えますので、中間報告を先にお願ひできればと思いますが、その前に質問がある方はお知らせください。

【安田秀子委員】

資料1の1ページ目にある新たな課題の自然とのふれあいの機会減少はどこのソースでしょうか

【事務局】

環境学習等でのヒアリングや、環境基本計画のアンケートを元に課題を抽出しております。

【安田秀子委員】

資料1の1ページ目にある新たな課題の施設建設等の施設とは何を指しているのでしょうか。

【事務局】

石狩浜に設置しております風力計や住宅、再生可能エネルギーなどです。面積的に減っているので事実として明記しております。

【溝渕会長】

前回の委員会でもアクションプランに関する意見にもありましたが、ネイチャーポジティブや地域脱炭素化と生物多様性保全を両立して進めることを書きこんでいけないか、記述を増やしていけないかというご意見も出ていたと思います。この意見については、反映しているという認識でよろしいでしょうか。

【植物ラボ】

今後入れ込んでいく予定ですが、検討会議内で確認していないので現段階では公開していません。

【安田秀司委員】

新たな課題の2つ目については特定の種がいますか。

【事務局】

動物だけではなく、植物も含めていくつか種がおります。

【溝渕会長】

それでは、具体的に中間報告をいただき、中身を見ていきたいと思います。説明お願いいたします。

【事務局】

—資料説明—

■補足

- ・進捗のある事業について説明
- ・アンケート結果で要望のあったクラフト体験の再開
- ・CISE ネットワークの取組としてトランクキットのアプリ化

【溝渕会長】

4月29日から現体制でセンターの運営を行っているかと思います。事務局より、来館者等について昨年度と比較して何か変化はありますでしょうか。

【事務局】

来館者数につきましては、休日の天気によって左右されることがとても多いです。なので、昨年度と比較して考えることは難しいですが、小学校からの予約スピードが今年度分は早いです。

純粋な来館者の反応としては、お花を見て帰られる方が多く、エゾカワラナデシコを楽しみにしている方が多いです。コロナの分類も変わったので、イベントへの参加は分散しているように思います。

【溝渕会長】

イベントが各所で再開しているので他の場所にも移動している、小中学校からの依頼が増えてきているということ、人出が少しずつ戻ってきているような印象でしょうか。

また、前回の委員会でご指摘のあった情報発信については、中間報告の中であったようにハッシュタグを活用した発信や、CISE ネットワークなどその他の団体で行った事業の協力・出展という形で対応しているということでしょうか。

【事務局】

昨年度の事業ですと、インスタ等の発信は考えられておりませんでした。また、コロナもあったので触れる体験や横の連携もかなり希薄になっていました。今年度は、そういった点が再開する運びになっておりますので、少しずつ取り組めるところを進めていくことを考えております。

【溝渕会長】

前回の委員会での意見で、アクションプランを背骨として、それに合わせてセンター事業を整理し、ご指摘のあった発信に関しても今のような取り組みを進めているということですね。委員の中でも事業に関わりのある方、アクションプランに関わっている方もいると思いますので、皆様のご意見をお伺いできればと思います。

【安田委員】

PR 情報発信について、ホームページについてあまり稼働していないように思えます。資料を見てクラブが再開したことを知りましたが、せっかくなのでホームページにも書いていただければと思います。その他の調査研究や、ヘルシータイムなども合わせて出していくと良いかと思えます。

【溝渕会長】

軽く発信できる SNS やメディアがあると良いですね。

【松島委員】

保護センターのホームページのイベント情報がノーフィールドとなっています。植物観察日記も 2022 年で止まっているので状況が把握できません。逆に言うと皆さんは何を見て来館しているのでしょうか。更新は大変かと思いますが、公式なページですので活用についてお願いいたします。

【西川委員】

資料1の事業概要について教えてください。10 ページの動物についてです。こちらについては希少種について想定していると思うのですが、シカや生態系に与える影響が大きいものをモニタリングするというを加えたほうが良いかと思います。また、保全対策なのですが、12 ページの希少種の調査を継続することについては、保全策を検討するという所まで踏み込んだ内容を追記しても良いかと思いました。外来種については、具体的に何を対象にしてどういった方法を誰がやるのかということが見えた方が計画としては良いのかと思いました。

【事務局】

石狩浜のモニタリング調査については、現段階では希少種に限定はしておりませんので、先ほど出たシカなど、影響が大きそうな種についても選定することで調査を考えたいと思っています。

外来種に関しては、定着を確認している種に対してどういった対策をどのようにする方が良いのかという判断が出来ていない、また情報自体が少ないのでモニタリングでとどめています。アライグマやアズマヒキガエル、ニセアカシアなどの定着を確認しておりますが、どの種を早急に対応する必要があるのか、優先順位が悩ましい部分もあるので、引き続きご意見いただくと幸いです。

【西川委員】

アズマヒキガエルなど捕獲活動をされているようなので、ある程度情報が多くあると思っていました。

【事務局】

現地をよく知っている有識者の方とやり取りをした中で、対策を具体化できれば良いかと思っております。

【溝渕会長】

細かい保護保全の内容についてはアクションプランの中で検討し、センターの事業ではその一部を担うということを考えると、今年度中だけでは具体的な対策は考えられないかもしれないということでしょうか。

【事務局】

できる限りは検討したいと思います。

【溝渕会長】

西川委員からいただいた意見のように、具体的な業務内容や年度目標を、危機感も持って記

載できるとよいと思いました。

宮本委員いかがでしょうか。

【宮本委員】

前回、情報発信について弱いと思い意見を言いました。ハッシュタグのお話を聞いて、多くはありませんが色々書いている人もいました。はまなすフェスティバルは楽しい感じで写真が出てくるのでそういったワードとか、環境保全に関するキーワードを使ってみると良いかと思っていました。

ホームページについては全然活用が出来ていませんね。はまぼうふうフォトレーターについてはタイトルが間違っているのを見つけてしまったので、急いで直してください。今までやっていないことにトライしているということについては、いいなと思いました。もし修正するなら、ハッシュタグについても、ホームページでお知らせしたほうが良いと思います。

【溝渕会長】

事務局で修正、よろしく願いいたします。情報発信については、運営委員会の回数は限られているので、その他の機会にも委員の皆さんからいただければと思います。

【安田委員】

4つ目の石狩浜の自然に対するシビックプライド浸透のための基盤づくりですが、持続可能な範囲で海浜植物を活用すると書かれています。具体的には 17 ページを指すと思うのですが、ハマナスが中心のように見受けました。しかし、石狩海岸全体の自然を触れ合うことが大事で、自然観察や理解してもらうことをした方が良いかと思います。その部分が足りないように見受けられるので、盛り込んでほしいと思います。

【事務局】

4つ目の事業方針については、16 ページの環境学習も該当しますので、こちらについては石狩浜全体の考えとなっております。環境学習だけではなく生涯学習も含めて、石狩浜に来てもらって好きになってもらうことを前提としています。17 ページの事業だけを見ると偏って見えるのかもしれませんが、この部分についてもハマナスをシンボルとして石狩浜の普及啓発をするという意味になっております。

【安田委員】

開設当初にしていた野外での観察会などが少ないと思います。現地での観察会をやってほしいと思うので、ご検討いただければと思います。

【事務局】

そういった意見も踏まえつつ、現状として昨年度開催した座談会のようなものを進めていくことを考えています。重要であることについては理解していますが、現地ですでに個人でやられている方、ツアーで実施している団体もありますのでそういった方たちの動きを見つつ、他の方がやっているのをお任せしたいと思います。参考にはさせていただきます。

【溝渕会長】

16 ページの部分ですが、表現の仕方を社会教育全て含むような形を入れてみると良いかと思
います。限られた人員の中で、全てをすることは難しいと思いますので、地元の団体と協力し
て取り組んでいくという目標の書き方でも良いかと思ひます。ハマナスについても、少し文章
に反映できるような形の表現だと分かりやすいかもしれません。

【西川委員】

関連してなのですが、持続的な範囲内で海浜植物を利用するというような意味に読めるので、
自然とのふれあいの創出を、保全に係る基盤を構築するようなニュアンスに変えると伝わりや
すいと思ひます。

もう1つ追加なのですが、3 ページの事業方針Ⅱの事業概要について、情報発信・体験学習・
観察園・再生園の整備のためというより、海浜植物の保全や生態系の保全に必要な調査を実施
するとした方が設立理念に合致していると感じました。

【溝渕会長】

事業方針と内容を、センターそのものの存在意義を照らし合わせるとより事業につながりや
すいと思ひます。

更科委員いかがでしょうか。

【更科委員】

前回と比較して、改善されていて分かりやすくなっていました。先ほどから皆さんお話しされ
ているように、情報発信の部分が少し足りなく感じます。センター内で植物の開花情報などの
写真を掲示するのはよいですが、センターに行った人しかその情報を見ることができないので、
やはりホームページを頻繁に更新する等の必要があると思ひます。ホームページを更新するの
に時間がかかるというのであれば、実現は難しいかもしれませんが、例えば実際にセンターの
手入れをされている普及員さんたちが情報を Twitter 等で発信することができると良いかなと思
いました。

後は図書館花壇については、どなたが管理されているのでしょうか。

【事務局】

保護センターの業務を見ながら普及員や職員で整備しています。

【更科委員】

保護センターの管理に加えて図書館でも花壇を管理されているとは知りませんでした。せっ
かくたくさん努力をされているのですから、その部分をたくさんアピールできたら良いと思ひ
ました。

【小林委員】

SNS についてですが、私も発信しているのでわかるのですが、SNS とホームページは切り分け
て考えたほうが良いと思ひます。インスタや Twitter はオンタイム情報が重要だと思ひます。た
だ、公務員の方とか立場のある人は、組織のことを個人が発信するのは難しいと思ひます。イ

ンスタとかは朝に閲覧していることが非常に多くて、実体験ですが朝発信すると集客につながると思っています。

外来種の話ですが、農家なので特にアライグマの被害は非常に感じています。夜行性で姿も見えないし、警戒心も強いので、分かる人が見ないとアライグマかわからないです。アライグマの捕獲に対しての補助があるので、そういったのを活用して一網打尽にしないと効果的なものが見られないのかなと思います。保護センターだけではなくて、農業などと他の分野と協力、情報提供する取り組みが出来たらいいのかなと感じました。

【溝渕会長】

アライグマと海浜植物の関係、いしかり生きものかけはしプランとの関係についてはいかがでしょうか。

【事務局】

アライグマに関しての被害は、厚田・浜益・石狩浜・旧石狩市域で違うと思います。特に保護センター周辺では、アライグマが増えると草原性の野鳥への影響が懸念される可能性もあります。更科委員と実施しているアズマヒキガエルの駆除では、特に今年度アライグマによるヒキガエルの捕食が見受けられましたので、外来種による外来種の捕食は自然の状況としてはよくありません。仮説ですが、農業被害は農業を始める時期に出てくると思うのですが、今年は4月中旬くらいからヒキガエルを捕食しており、繁殖前のアライグマのエサになっているかもしれません。農業関係では確かに補助金がありますので、そういった連携はまた一つ新しい視点をいただけたと思います。

【小林委員】

畑には確かに4月の中旬にはアライグマのエサになるものがないので、ある場所に集まると思っています。今のお話のように出産前に捕まえられるのが一番効率的だと思います。そのような時期に捕まえられるのであれば対策をした方が良いと思います。やれることから徐々にやっていくのが良いと思います。

【松島委員】

目的の中に多様な主体の参画とかが入っていますが、庁内であまり情報共有がされていないと思うところがあります。まさに今のアライグマもそうです。先日、海岸林が切られたのですが、その情報共有がなく切られてから事実として知ったり、観光課の事業で実施している浜益の事業がありますが保護センターに情報が行っていなかったり。ハマボウフウも3株ぐらいしかなかったものを、200株くらい苗をつくりました。おそらく情報共有がされていないと思います。もう少し連携してできたら良いのかなと思います。

【溝渕会長】

ヒキガエルやアライグマについて、課題と手を打つことをどこかに盛り込めたらいいのではと思いました。松島委員のご意見については、アクションプランなのかかけはしプランに、言及する可能性はいかがでしょうか。

【事務局】

他機関、他部署との連携につきましては、希少種の生息地が再生可能エネルギーとの軋轢でなくなったという事例が他地域でもありますし、庁舎・他機関との連携の必要性を感じております。連携については今後入れていく方向で調整したいと思っております。

【溝渕会長】

関係する部署について、かなり重要な論点だと感じました。ある程度の関係が記載できれば良いかと思っております。アライグマについても、エコシステムということを考える学びの大きな素材になると思っております。

【宮本委員】

アライグマについては、札幌市でアオサギのコロニーがなくなったという話もありますので、他部署との連携を深めて被害を減らしていただければと思います。

【安田秀子委員】

事業方針Ⅲの自然資源については何を指しているのでしょうか。石狩浜全体のことなのか、保護地区のことなのか、ハマボウフウなのか教えてください。

【事務局】

石狩浜アクションプランの前提に、砂浜から海岸林までの連続した海浜生態系の確保ということがあります。そこから保護センター事業もその方向で目指して進んでおりますので、石狩浜全体について自然資源として考えています。

【溝渕会長】

おそらくセンター事業とコンセプトに記載されている内容に、少しズレがある印象があるので、アクションプランと事業の構造を分かりやすく整理できればよいと思っております。

【安田秀司委員】

事業計画の2ページ目に基礎情報の文字が一つ抜けているので指摘させていただきます。

【更科委員】

話が前後しますが、アライグマの件について情報共有です。2017年から石狩浜の親船名無沼アズマヒキガエルの調査をしており、親船名無沼周辺では2018年からアライグマの痕跡を確認していました。

アズマヒキガエルは、毎年ゴールデンウィークの5月3日から6日あたりの一週間くらいにアズマヒキガエルが繁殖していることが確認されているのですが、昨年と今年については産卵時期が前倒しになって4月下旬にはピークを迎えています。

対策の優先順位からこれまでアライグマについては動向を見守っていましたが、小林委員のお話にもありましたように、アライグマの繁殖に関係する4月末のエサ資源がアズマヒキガエ

ルとなっているのかどうか、またアライグマ対策の緊急性については今後注視し考えていく必要はあると思いました。

【溝渕会長】

引き続きよろしく願いいたします。連携が必要なところについては、ご検討いただければと思います。

今回も多くのご意見をいただき大変ありがとうございました。一つ一つの意見を確認することはいたしません、計画の資料だけでは見えにくく、委員との協議から出た情報やアイデアが多くあります。それに対して対策を講じていく必要があります。難しい点もあるかと思いますが、方針を引き続き検討いただき、内容を進めていただければと思います。何かご意見がありましたら、事務局にご相談ください。

また議事録について、事務局とご相談させていただきました。会長の確認後に公開という形をとっておりましたが、委員の皆さまにもお送り、確認いただいて、公開していただきたいと思っております。何かございましたらご意見いただければと思います。それでは、本日の議題がすべて終了いたしましたので、事務局にお返しします。ありがとうございました。

【事務局】

長時間にわたりまして、ご審議いただきありがとうございました。議事録の件につきましては、会長に合わせて他の委員の方にも確認するというところで進めたいと思います。いただきましたご意見につきましても、取り組めるところから検討して進めたいと思います。ありがとうございました。

議事録を確認しました

令和 5年 6月 26日

石狩浜海浜植物保護センター運営委員会

会長 溝渕 清彦

